

第 22 回大井町地域公共交通会議 概要

日 時：令和 6 年 9 月 1 2 日(木) 午後 2 時 3 0 分～

場 所：大井町役場 3 階 3 0 3・3 0 4 会議室

出 席 者 井原会長、井上(仲)副会長、布施委員、近藤委員、森下委員、中津川委員（中川代理）、浅野委員（山崎代理）、遠藤委員（辻本代理）、畑野委員、尾登委員、曾根委員、湯川委員、内田委員、倉橋委員、矢吹委員、西出委員、寺下委員、香川委員、鈴木オブザーバー（鍵和田代理）

欠 席 者 米山委員、橘川委員、中村委員、藤澤委員
（ 4 名 ）

事 務 局 原、廣川（大井町企画財政課）

公 開 公 開 / 非 公 開

傍 聴 者 なし

次 第 1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1）大井町巡回バス「おおいゆめバス」について

・おおいゆめバス利用実績について

資料 1

・おおいゆめバスの現状について

資料 2

（2）商業施設等との連携サービスについて

資料 3

（3）松田町 AI オンデマンド交通実証実験に係る乗降場所の新設について

資料 4

（4）その他

4 閉会

■議題における議事録

(1) 大井町巡回バス「おおいゆめバス」について

○おおいゆめバス利用実績について

・事務局より、おおいゆめバス利用実績について、説明〔資料 1-1～1-2〕

【意見・質疑】

会	長	無料パス利用率が昨年度と比較すると減少しています。小中学生は、登下校の利用のためこの変化に影響しているとは考え難いため、シルバーパスの利用率の変化が影響していると考えられます。福祉課で状況についての原因を把握していますか。
委	員	シルバーパスの発行は、昨年からの継続が 198 件、今年度からの申請が 24 件となっています。シルバーパス更新のタイミングの 3 月にアンケート調査を行いました。調査内容では減少に対する確かな理由は、分かりませんでした。福祉課としては、今年度は猛暑の影響もあり外出の回数を少なくした方が、多かったのではないかと予想しています。引き続き状況について、注視していきたいと思います。
会	長	資料 1-2 で出ているアンケートや今後アンケートを行う場合は、庁内で連携し、パスの利用状況も踏まえ、調査できるような方法を検討してください。
委	員	資料 1-2 のアンケートは、何を目的に行う予定ですか。利用者実績の検証をするためですか。それとも今後の運行計画の変更を行うための資料でしょうか。
事	務	局 アンケートは、実績の検証と今後の運行体制の検討のために現在のニーズを見るための資料とする予定です。
委	員	資料 1-2 は利用者の為だけのアンケートですので、利用していない方の意見も必要になってくると思います。例として、このアンケート内に「なぜ他の人がゆめバスを利用していないか。」を聞いてみてはいかがでしょうか。
事	務	局 今回のアンケートに入れていきたいと思います。
会	長	問 2-6 以降に設問を追加しましょう。ゆめバスを現在使っている人が便利になり、現在利用していない人が乗車してもらえるようにアンケートや昨年行った意見交換会などの形式も含めて、意見を聞く場を作りたいと思います。
委	員	3つ確認があります。1つ目が町民意見を聞く場ですが、民生委員の活動の中で年に1度高齢者の意見を直接聞く機会があります。高齢者限定となりますが、その機会を活用できるのではないかと思います。2つ目、ゆめバスは運行していない曜日がありますが、町のイベントなどの際に臨時で運行できませんか。3つ目、利用者の意見ですが、循環型のバスのため乗車する場所によって目的地に着くまでに大井町を一周する場合があります。20～30分程度で町内の目的地まで到着できるルートにしたいです。
会	長	1つ目、町民意見を聞く場は、来年度以降、庁内で調整いただきたいと思います。2つ目は運行委託料や委託先である富士急モビリティ（株）の運転手の問題がございいますので、事業者にも確認の上で今後庁内での検討をお願いします。3つ目、運行ルートですが、「おおいゆめバスの現状について」で事務局より議題としています。私と事務局でルートの検討をしておりますので、次回以降にご報告できるようにいたします。
委	員	2つ目のイベントでの臨時バスの件ですが、事業の所管課と調整し、ニーズも含め

		て調整していきたいと思います。
会	長	料金の問題もありますが、イベントの時に試しに運行してみて、町民の乗車する機会を増やしていくことが重要です。
委	員	今年度より相和循環で相和小に通学する子どもの送迎を行っていただき、保護者の負担も減り、感謝しています。アンケートについてですが、バスに乗車している人に配るようですが、小学生は保護者が回答するのではないかと思います。学校を通じてアンケートを配布できませんか。また、今後は相和地域から湘光中へ行く人数が減少していくと思います。子どもの移動手段を確保するために登校ルートだけでなく相和循環を利用して相和小へ行く便の利便性の向上をお願いします。
会	長	教育部局として、ゆめバスの利用をどのようにお考えでしょうか。
委	員	今後少子化が進み、相和地区の子どもの送迎にバスが必要なのか、スクールバスのような運用の方がいいのかなどについて中学校を交えて検討したいと思います。また、今年度より開始した小学生の相和循環の登校利用については、今後の利用者の推移をみて利用の仕方など検討していきたいと思います。
会	長	ゆめバスは子どもの通学手段の確保を第一に進めています。利用者全員が乗車できるよう今後の動向を確認し、調整してください。アンケート調査の取り方について事務局より回答をお願いします。
事	務	局 アンケートの取り方ですか、バス車内にアンケート用紙を配架し、利用者に記載いただき、車内に設置されている回収ボックスに入れていただく予定です。アンケート用紙には二次元コードを記載し、ネットからも回答可能とします。今回は学校経由での配布は実施しませんが、今後無料パスを発行している2つの課とも協力し、ゆめバスの今後について調整していきたいと思います。
会	長	子ども無料パスについては、登下校ルートを利用していますので、利用者の意見は今回のアンケートで把握できると思います。無料パスは新1年生を中心に利用周知していると思いますが、未だに保護者が送迎して通学している子もいると思いますので、引き続き運行周知と併せて無料パスの利用周知も進めてください。
委	員	子ども無料パス利用者は、親がアンケートを回答すると思いますので、ネットで回答できるような方法の周知を検討してください。
事	務	局 こども無料パスのアンケートについては、教育委員会を經由して、学校に協力できないか今後調整していきたいと思います。
会	長	それでは、議題1「おおいゆめバス利用実績について」は以上といたします。

(1) 大井町巡回バス「おおいゆめバス」について

○おおいゆめバスの現状について

- ・事務局より、おおいゆめバスの現状について、説明〔資料2〕

【意見・質疑】

会	長	事務局より今回説明いただきましたが、委員の皆様よりご意見いただきたいと思います。ここで意見を伝えること難しいと思いますので、運行への意見を考えて、次回以降の会議や個別に事務局へご連絡ください。 それでは、議題1「おおいゆめバスの現状について」は以上といたします。
---	---	--

(2) 商業施設等との連携サービスについて

- ・事務局より、商業施設等との連携サービスについて、説明〔資料3〕

【意見・質疑】

会 長	引き続き地域の商工会と連携し、協力していただける会社を増やしていただきたいと思います。
委 員	利用者特典で利用者が望むもの、例えばゴミ袋とかの配布があれば、ゆめバス利用率は上がると思います。今回連携している会社はゆめバスの運行ルートにないため、改めて特典を貰いに行く必要がありますが、利用者特典の利用状況は把握していますか。
会 長	8月からスタートしたため、成果が出てくるのはこれからだと思います。
事 務 局	この特典は(株)ノジマ様からのご厚意で始まっていますので、こちらで物の指定はできません。利用状況については、8月中の実績を会社に確認中です。
会 長	ゆめバスの利用が伸びた場合、その要因が利用特典を開始したからなのかは断定できませんが、特典を提供する側の会社はその数が把握できると思いますので、年度単位では結果を報告してください。 それでは、議題2「商業施設等との連携サービスについて」は以上といたします。

(4) 松田町 AI オンデマンド交通実証実験に係る乗降場所の新設について

- ・事務局より、松田町 AI オンデマンド交通実証実験に係る乗降場所の新設について、説明

〔資料4-1〕

- ・松田町担当者より、松田町 AI オンデマンド交通実証実験に係る乗降場所の新設について、説明

〔資料4-2、別紙1～4、参考資料〕

【説明】

松田町担当者	令和5年10月から実証実験を行い、1年が経過したため、利用者ニーズを調査した上で、乗降場所新設に伴うエリアの拡大についてのご協議と実証実験の計画内容の変更をご報告させていただきます。 【協議事項について説明】 別紙1に追加予定している4か所について示しており、次ページ以降は前回承認いただいた乗降場所を示した図です。 別紙2は、のるーと足柄を運行することによる路線バスの影響を富士急モビリティ(株)より資料をいただき、現状について確認しています。運行を開始した10月以降の推移を見ていただくと、運行を開始したため乗降人数が減少したとは考え難いと思っております。コロナ禍からの回復傾向もあるため、説明したバス停だけでなく、周辺のバス停の状況について引き続き確認していきます。 【報告事項について説明】 11月より運行計画の変更を検討しており、別紙3、4がその内容となっています。大井町内の運行エリアの拡大と同様に、開成町にも運行エリアを拡大します。松田町では、乗降場所の新設と併せて1か所廃止となる予定です。 別紙4は11月以降計画です。持続可能な公共交通とするため運行時間が変更とな
--------	---

り、現在の6:30～10:00より7:00～9:00、日曜・祝日が8:30～8:00に変更となります。運賃も大幅な変更を行います。裏面料金表のとおり変更し、エリアを跨ぐ場合は、追加料金をいただく予定です。
参考資料より大井町民の利用状況をまとめています。

【意見・質疑】

会 長 乗降場所の新設と説明いただきましたが、新しい乗降場所は従来の運行区域と異なるため、運行区域の新設として協議を行いたいと思います。まずは、協議事項から審議を行い、その後報告いただいた内容について質問をします。

【協議事項について審議】

委 員 アンケートはいつ取ったのでしょうか。

松田町担当者 令和6年1月頃です。

委 員 誰を対象に取ったアンケートですか。

松田町担当者 利用者を対象としています。

委 員 エリアを広げるのであれば、周辺住民にもアンケートを取る必要があるのではないのでしょうか。

会 長 のるーと足柄という新しい交通手段は、松田町が松田町民のためにやっている政策であり、その中で、大井町内で乗降できるためこの場で審議しています。今後、大井町や開成町も交えてエリアを拡大するなどの協議は、実証実験の結果を踏まえて検討していきます。

委 員 松田町の政策であることは、把握しました。しかし、拡大したエリアの先でも様々な交通施策を行っているため、のるーとも公共交通に位置づけられると思いますので、情報は広く収集した中で、検討をしてください。

会 長 松田町では変更内容について、協議が整った状態ですか。

松田町担当者 既に整っています。

会 長 交通事業者などとも話し合いが行われ、協議が整っているようですので、委員の皆様もご承知おきいただきたいと思います。

委 員 東向き、西向きと分けて乗降場所が設置されていますが、違いは何ですか。

松田町担当者 バス停と同様で、対面に設置されている乗降場所とご認識ください。

また、先程の回答を訂正いたします。松田町での協議が整っていると回答しましたが、松田町の分科会では協議が整っていますが、松田町地域公共交通会議では、これからご審議をいただく内容となります。

会 長 分科会の委員に交通事業者は入っていますか。

松田町担当者 入っています。

会 長 乗降場所の新設について、ご異議ある方はご発言ください。発言無しのため、「松田町 AI オンデマンド交通実証実験に係る乗降場所の新設について」は承認いたします。本会議から松田町地域公共交通会議へ、依頼の回答を送付します。

【報告事項についての質疑】

会 長 のるーと足柄運行に対する幹線の影響報告ですが、金子のバス停の状況をお示しいただいております。乗降人数が一緒であればここから乗って、ここで降りているとわ

かりますが、降車人数が多いため、他の乗車場所からここで下車しているということです。そのため、この資料だけでは影響があったかについては読み取れません。昨年度も話しましたが、幹線の補助を貰っていますので、この系統の平均乗車密度で状況を追っていく必要があります。今年度より町の交通会議から申請していますが、昨年度までは県が申請していました。今年度の補助金の申請では、昨年度と比較して平均乗車密度を変更したか否かについては、後ほど確認してください。のるーと足柄の影響を見越して減少で変更したのか、コロナ禍からの回復を見越して増加で変更したのか、この人数が減ってしまうと補助金ももらえなくなってしまうので、注視していく必要があります。

委 員 エリアを跨いで運行する場合ですが、本人が大井町から大井町まで利用する予約をしたが、運行ルートで松田町に乗り入れた場合は、追加料金の対象となりますか。

松田町担当者 追加料金の対象とはなりません。

会 長 この料金に決まった際は、情報提供をお願いします。会議で松田町政策推進課長がオブザーバーとして入っていますので、情報を共有していただきたいと思います。

(4) その他

事務局・委員より提出案件なし。

4 閉会

【意見・質疑】

事務局	長時間にわたってご協議いただきありがとうございました。これもちまして、第22回大井町地域公共交通会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
-----	--